

〈製品名〉

CC-SG 仮想アプライアンスのクイック セットアップ ガイド - ライセンス サーバなし

このクイック セットアップ ガイドでは、CommandCenter Secure Gateway のインストール方法と設定方法について説明します。

CommandCenter Secure Gateway の詳細については、『CommandCenter Secure Gateway ユーザ ガイド』を参照してください。このユーザ ガイドは、Raritan Web サイトの Firmware and Documentation [ファームウェアおよびマニュアル] セクション (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) からダウンロードできます。

ここでは、ローカル ライセンスを備えた **CC-SG** 仮想アプライアンスを、ライセンス サーバなしの構成で新たに設置する場合について説明します。

ライセンス サーバを削除する必要がある既存のユーザは、最初に **5.3** にアップグレードした後、「**ライセンスを取得する『2p.』**」の先頭からの手順に従ってください。処理ライセンスから未処理ライセンスに移行する場合は、手順が異なることに注意してください。未処理の設定に移行するには、その前に **Raritan** のテクニカル サポートに連絡して、**CC-SG** ライセンスを再ホストする必要があります。

要件

1. CommandCenter Secure Gateway 仮想アプライアンス版を導入する ESX/ESXi 4.1/5.0
 - 空き領域 40GB 以上のデータストアが必要
 - 利用可能なメモリ 2GB が必要
 - サーバに物理 NIC が 2 枚必要 (ESX/ESXi ネットワーキングでは、これを “vmnic” と呼びます。)
 - 共有ストレージにアクセスできる高可用クラスタをお勧めします。Fault tolerance も使用できます。CC-SG 管理者オンライン ヘルプの「Using VMware High Availability or Fault Tolerance with a CC-SG Virtual Appliance(CC-SG 仮想アプライアンスの VMware High Availability または Fault Tolerance を利用)」を参照してください。
<http://www.raritan.com/help/ccsg/v5.3.0/en/#25713>
2. vSphere Client 4.1/5.0 を実行するクライアント コンピュータ
3. 仮想アプライアンスの .OVF ファイルは、
<http://www.raritan.com/support/commandcenter-secure-gateway> から入手できます。詳細は、「インストール ファイルをダウンロードする」を参照してください。
 - **CommandCenter Secure Gateway 仮想アプライアンス版**のリンク: このリンクを表示するには、Raritan ソフトウェア ライセンス キー管理のサイトにログインする必要があります。「ライセンスを取得する」を参照してください。

インストール ファイルをダウンロードする

全インストール ファイルのセットは、
<http://www.raritan.com/support/CommandCenter-Secure-Gatew>

[ay/](#) から入手できます。[CommandCenter Secure Gateway Virtual Appliance] リンクからアクセスしてください。

このリンクでファイルにアクセスするには、Raritan ソフトウェア ライセンス キー管理にログインする必要があります。詳細については、「ライセンスを取得する」を参照してください。

サイズの問題で .OVF ファイルのダウンロードを希望しない顧客には、.OVF ファイルを製品 DVD でお送りします。

インストール ファイルは .ZIP ファイルに収められています。ファイル名の <release number> の部分には、実際の CC-SG リリース番号が入ります。

vccsg_re[<release number>].ovf.ZIP ファイルには以下が含まれています。

- 仮想アプライアンス版の導入に使用される .OVF ファイル

VMware ESX/ESXi 4.1/5.0 への CommandCenter Secure Gateway のインストール - 未処理

1. vSphere 4.1 または 5.0 を使用して、クライアント コンピュータから ESX/ESXi 4.1 または 5.0 に接続します。
2. 仮想マシンの作成、開始、停止許可を持つユーザとしてログインします。
3. [File(ファイル)] > [Deploy OVF Template(OVF テンプレートの導入)] を選択します。
4. [Deploy From File(ファイルから導入)] を選択し、[参照] をクリックしてファイルを解凍したディレクトリに移動します。.OVF ファイルを選択します。[次へ] をクリックします。

- 作成される仮想マシンの詳細が表示されます。仮想マシンのデフォルト名は変更可能です。[次へ] をクリックします。
- インベントリ の場所を選択します。[次へ] をクリックします。
- CommandCenter Secure Gateway の導入先にするホストを選択します。**フェイルオーバー保護のため、高可用クラスタを構成するホストを選択することをお勧めします。**[次へ] をクリックします。
- クラスタを選択した場合は、特定のホストを選択します。[次へ] をクリックします。
- すべてのファイルを保存するデータストアを選択します。データストアに 40GB の空き領域があることを確認します。[次へ] をクリックします。

注: データベースの可用性は、適切かつ信頼性の高い操作には欠かすことができません。データストアは、冗長ネットワーク アクセスおよびルーチン バックアップにより、非常に高い可用性を提供します。

- CC-SG が導入されるネットワークを選択します。[次へ] をクリックします。
- サマリーを表示し、[終了] をクリックします。仮想マシンが作成される間、数分待ちます。
- 仮想マシンの電源をオンにします。
- [コンソール] タブを開き、CC-SG の診断コンソールにアクセスします。

診断コンソールにログインし CC-SG IP アドレスを設定する

- admin/raritan* としてログインします。ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別します。
- 続いてローカル コンソールのパスワードの変更を求めるプロンプトが表示されます。
 - デフォルトのパスワード (*raritan*) を再度入力します。
 - 新しいパスワードを入力し、確認します。新しいパスワードは、文字と数字を組み合わせた 8 文字以上の強力なパスワードにする必要があります。
- [Welcome] 画面が表示されたら CTRL+X を押します。
- [Operation] > [Network Interfaces] > [Network Interface Config] を選択します。Administrator Console が表示されます。
- [Configuration] フィールドから、[DHCP] または [Static] を選択します。[Static] を選択した場合、静的 IP アドレスを入力します。必要に応じて、DNS サーバ、ネットマスク、ゲートウェイアドレスを指定します。
- [Save] を選択します。CC-SG が再起動するまで数分待ちます。

CC-SG のデフォルト設定

IP アドレス: 192.168.0.192

サブネット マスク: 255.255.255.0

ユーザ名/パスワード: admin/raritan

CC-SG にログインする

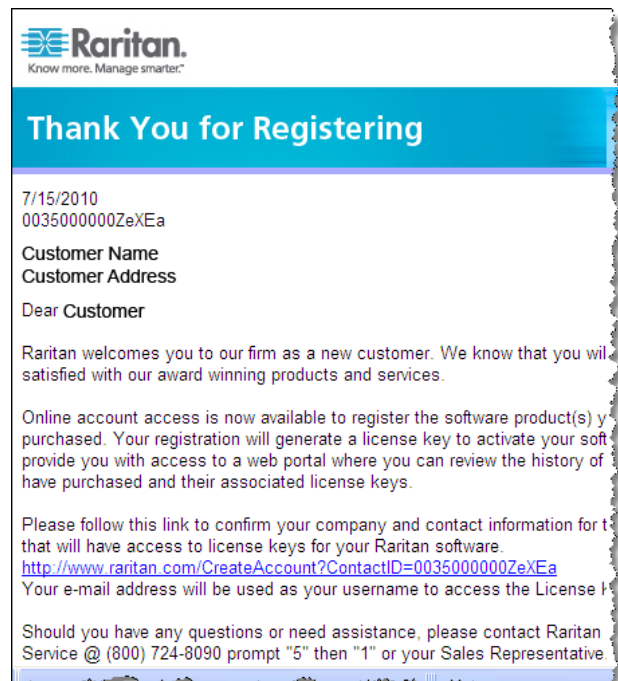
- サポートされているブラウザを起動し、CC-SG の URL 「https://<IP アドレス>/admin」と入力します。
たとえば、「https://192.168.0.192/admin」のように入力します。


注: ブラウザ接続のデフォルトの設定は、HTTPS/SSL 暗号化です。

- セキュリティ警告ウィンドウが表示されたら、接続を受け入れます。
- サポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使用すると、警告が表示されます。プロンプトの表示に従って、正しいバージョンをダウンロードするか、続行します。ログインウィンドウが表示されます。
- デフォルトのユーザ名 (*admin*) とパスワード (*raritan*) を入力し、[Login] をクリックします。
CC-SG Admin Client が表示されます。

ライセンスを取得する

- 購入時に指定されたライセンス管理者は、送信元電子メールアドレスが licensing@raritan.com で、件名が "Thank You for Registering(ご登録ありがとうございます)" という Raritan Licensing Portal(Raritan ライセンス ポータル) からの電子メールを受信します。




Know more. Manage smarter.

Thank You for Registering

7/15/2010
0035000000ZeXEa

Customer Name
Customer Address

Dear Customer

Raritan welcomes you to our firm as a new customer. We know that you will be satisfied with our award winning products and services.

Online account access is now available to register the software product(s) you purchased. Your registration will generate a license key to activate your software. We will provide you with access to a web portal where you can review the history of software you have purchased and their associated license keys.

Please follow this link to confirm your company and contact information for that will have access to license keys for your Raritan software.
<http://www.raritan.com/CreateAccount?ContactID=0035000000ZeXEa>
Your e-mail address will be used as your username to access the License Portal.

Should you have any questions or need assistance, please contact Raritan Service @ (800) 724-8090 prompt "5" then "1" or your Sales Representative.

- 電子メール内のリンクをクリックして、Raritan の Web サイトのソフトウェア ライセンス キー ログイン ページに移動します。ユーザ アカウントおよびログインを作成します。ユーザ名は自分の電子メール アドレスです。ライセンス アカウント情報ページが開きます。間もなくライセンス ファイルが使用可能になります。
- 送信元電子メール アドレスが `licensing@raritan.com` で、件名が "Your Raritan CommandCenter SG Software License Key is Available(Raritan CommandCenter SG ソフトウェア ライセンス キーが使用可能です)" という Raritan Licensing Portal(Raritan ライセンス ポータル) からのもう 1 通の電子メールを確認してください。



Thank You for Registering

7/15/2010
0035000000ZeXEa

Customer Name
Customer Address

Dear Customer

This is an important email regarding your recent Raritan CommandCenter Sec purchase. Your Software License Key may now be generated. This License required to activate this Software Product.

You can access that license key(s), as well as review the history of Raritan s products that you have purchased with their associated license keys, at our w here - <http://www.raritan.com/licensing>.

- 電子メール内のリンクをクリックして、Raritan の Web サイトのソフトウェア ライセンス キー ログイン ページに移動し、作成されたユーザ アカウントでログインします。
- [Product License(製品ライセンス)] タブをクリックします。購入したライセンスが一覧表示されます。ライセンスが 1 つしか表示されない場合や、複数表示される場合があります。
- 各ライセンスを取得するには、リスト内の項目の横にある [Create(作成)] をクリックします。CC-SG128-VA の基本ライセンスと CCL-1024 のアドオン ライセンスなど、ライセンスが 1 つ以上ある場合は、先に基本ライセンスを作成します。

注: ライセンス サーバ設定から未処理設定に移行している場合は、再ホスト ライセンスを取得する必要があります。古いライセンス ファイルは使用できません。必ず新しいライセンスを作成してダウンロードしてください。新しいライセンスが表示されない場合は、Raritan のテクニカル サポートに連絡して再ホスト ライセンスを要求すれば、未処理設定で CC-SG を動作させることができます。

- [New Deployment - For Use Without License Server (Non Served)(新しく CC-SG を導入した場合 - ライセンス サーバなしで使用 (未処理))] を選択します。
- CC-SG 仮想アプライアンスをインストールした仮想マシンのホスト ID を入力します。

- 新規で導入する場合は、Admin Client で [管理] > [License Management(ライセンス管理)] ページの上部の [CC-SG ホスト ID] フィールドからホスト ID をコピーします。
 - ライセンス サーバ設定から移行しているユーザの場合は、Status Console からホスト ID をコピーします。SSH クライアントを起動し、CC-SG 仮想マシンの IP アドレスまたは IP ホスト名を指定します。ポートに 23 を指定します。デフォルトの SSH ポートは 22 です。ポートを 23 に変更しない場合、SSH クライアントは、Status Console ではなく CC-SG のコマンド ライン インタフェースにアクセスします。クリックして接続します。ログイン プロンプトに「status」と入力します。40 文字のホスト ID をコピーします。SSH クライアントでは、場合によっては、コンソール ページ全体をコピーしてテキスト ドキュメントに貼り付け、そこからホスト ID をコピーする必要があります。新しいライセンスをインストールする場合は、Status Console を開いたままにして後でステータスを確認します。
 - サンプル ホスト ID:
98A77180737E600FVP9FF1707ED0CE2154CF7FD6
- [Create License(ライセンスの作成)] をクリックします。入力した詳細情報がポップアップに表示されます。ホスト ID が正しいことを確認します。

警告: ホスト ID が正しいことを確認してください。不正なホスト ID で作成されたライセンスは、有効ではないので、Raritan のテクニカル サポートに修正を依頼する必要があります。

- [OK] をクリックします。ライセンス ファイルが作成されます。
- [Download Now(今すぐダウンロード)] をクリックし、ライセンス ファイルを保存します。

ライセンスをインストールしてチェックアウトする

ライセンス サーバを削除するために再ホスト ライセンスをインストールしてチェックアウトする場合は、「**ライセンス サーバを削除するためのライセンスのインストールとチェックアウト**」『4p. 』を参照してください。

- [管理] > [License Management(ライセンス管理)] を選択します。
- [Add License(ライセンスの追加)] をクリックします。
- ライセンス契約を読み、テキスト領域の下までスクロールして、[I Agree(同意する)] チェックボックスをオンにします。
- [参照] をクリックし、仮想アプライアンスの基本ライセンス ファイルを選択します。ファイル名に「CC-SG128VA」が含まれている必要があります。
- [開く] をクリックします。
- ライセンスに含まれている機能が一覧表示されます。引き続き他の機能に必要なライセンス ファイルを追加します。
- CC-SG128-VA の基本ライセンスを選択し、[Check-Out(チェックアウト)] をクリックして有効にします。

- アドオン ライセンスを有効にするには、各ライセンスを選択し、[Check-Out(チェックアウト)] をクリックします。

ライセンス サーバを削除するためのライセンスのインストールとチェックアウト

ライセンス サーバを削除するために再ホスト ライセンスを追加して、未処理モードに変更すると、以前にインストールしたすべてのライセンス ファイルが削除されます。未処理モードに切り替えるには、CC-SG を再起動する必要があります。

- [管理] > [License Management(ライセンス管理)] を選択します。
- [Add License(ライセンスの追加)] をクリックします。
- ライセンス契約を読み、テキスト領域の下までスクロールして、[Agree(同意する)] チェックボックスをオンにします。
- [参照] をクリックし、仮想アプライアンスの基本ライセンス ファイルを選択します。ファイル名に「CC-SG128VA」が含まれている必要があります。
- [開く] をクリックします。[はい] をクリックすると、「Adding RAR_CC-SG128VA.lic file will cause CC-SG System Restart and will remove all of the existing license files.(RAR_CC-SG128VA.lic ファイルを追加すると、CC-SG システムが再起動し、既存のライセンス ファイルはすべて削除されます。)Do you want to continue adding the license file?(ライセンス ファイルの追加を続行しますか?)」というメッセージが表示されます。
- ライセンス ファイルが正常に追加されるとメッセージが表示され、CC-SG を再起動するよう要求されます。[OK] をクリックします。[OK] をクリックすると、「CommandCenter was restarted.(CommandCenter が再起動されました。)」というメッセージが表示されます。
- CC-SG が再起動するまで待ちます。Status Console (ホスト ID を取得したコンソール) でポート 23 のステータスが [作動中] であることを確認できます。もう一度 Admin Client にログインします。CC-SG は制限付き動作モードになっています。[OK] をクリックすると、「CC-SG operation will be limited until licenses are installed and activated.(CC-SG の動作は、ライセンスがインストールされて有効になるまで制限されます。)」というメッセージが表示されます。
- [管理] > [License Management(ライセンス管理)] を選択します。制限付き動作モードを終了するには、基本ライセンスをチェックアウトする必要があります。また、他の機能のライセンスやアドオン ノード キャパシティ ライセンスもアップロードする必要があります。
- CC-SG128-VA の基本ライセンスを選択し、[Check-Out(チェックアウト)] をクリックして有効にします。
- アドオン ライセンスを有効にするには、各ライセンスを選択し、[Check-Out(チェックアウト)] をクリックします。

その他の情報

CommandCenter Secure Gateway™ および Raritan 製品ラインナップ全体の詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.co.jp) を参照してください。技術的な問題については、Raritan のテクニカル サポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカル サポート窓口については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションにある「Contact Support」ページを参照してください。

Raritan の製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープン ソース コードのコピーを要求できます。詳細については、Raritan の Web サイトにある「Open Source Software Statement」(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。